

「笑美面インパクトミーティング関西'26」開催報告 ～シニアホーム運営事業者ら約 400 人が参加、ACP・フィジカル AI・業界連携を議論～

シニアホーム^{※1} 紹介事業の株式会社笑美面(本社:大阪市西区)は、2026 年 7 月 23 日(木)、マイドームおおさか(大阪府中央区)にて開催した「笑美面インパクトミーティング 関西'26」の概要を報告します。シニアホーム運営事業者や介護関連企業の関係者など約 400 人が参加し、昨年の約 200 人から約 2 倍に拡大しました。関東・関西を通じて過去最大規模のイベントとなりました。

当日イベントは、「WIN-WIN で進む介護の現在地と未来地図」をテーマに開催しました。当日は、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)、フィジカル AI、シニアホーム紹介事業の今後の方向性などをテーマとした講演を実施したほか、アワード授賞式、個別相談会、出展ブース見学、懇親会を開催しました。参加者同士が積極的に意見交換を行い、業界全体での連携を深める貴重な機会となりました。

※1 当社が主に紹介する有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅およびグループホームをまとめて示す



当社が運営するプラットフォーム「ケアプライムコミュニティサイト」に登録するシニアホーム運営事業者の事業責任者など、約 400 人が参加

■当イベント前半のハイライト:基調講演／笑美面セッション

イベントのメイン会場では、甲南医療センター 緩和ケア内科 部長 山口崇氏が登壇し、「介護現場で考える ACP(アドバンス・ケア・プランニング)～その人らしい暮らしを支えるために“今”大切なこと～」をテーマに講演しました。

講演で山口氏は、「終末期になってから慌てて話し合うのではなく、施設での生活が始まった段階から、その人らしい暮らしや大切にしたいことについて対話を重ねることが重要」と説明。

さらに、山口氏は、ACP が次の点にもつながると説明しました。

- ・本人の意思を尊重
- ・家族の納得感の醸成
- ・介護/看護職員の判断における迷いの軽減
- ・シニアホーム全体のケアの質向上

今後、高齢者の住まいとしてシニアホームの役割がますます大きくなる中で、「病気や介護が必要になっても、その人らしい暮らしを支えるために、シニアホームだからこそできる ACP の実践が重要になる」と参加者へ呼びかけ、講演を締めくくりました。

続いて、株式会社 Enactic 代表取締役 CEO 山本泰豊氏が登壇し、「人型ロボットは介護の人手不足を救えるか『フィジカル AI』最前線と、日本初スタートアップの現在地」をテーマに講演しました。

講演で山本氏は、フィジカル AI について「AI が実世界を認識し、自ら判断しながら行動する技術」と説明。介護業界をはじめとする人手不足の解決策として期待が高まる一方で、実用化には現場でのデータ収集や検証の積み重ねが不可欠であると紹介しました。

さらに、

- ・介護業界におけるフィジカル AI の活用可能性
 - ・安全性を確保しながら人と協働するための技術課題
 - ・現場の知見を生かした開発の重要性
- について解説しました。

今後、介護人材不足が深刻化する中で、「現場に寄り添った技術開発を進めるためには、介護事業者とテクノロジー企業の連携が重要になる」と両者が連携する必要性を示しました。

その後の特別セッションでは、当社代表取締役の榎並将志と、ケアプライムコミュニティ推進部 部長の早川佳吾が登壇しました。

榎並のテーマは、「シニアホーム紹介センターが目指す これからの業界動向」です。シニアホーム紹介事業を取り巻く環境変化や、今後求められる紹介会社と運営法人との関係性について次の3点を中心に説明しました。

- ・介護家族にとって安心できるシニアホーム選びの重要性
- ・紹介事業者求められる役割
- ・シニアホーム運営事業者との連携のあり方

介護家族が安心してシニアホームを選択できる環境づくりに向けて、運営事業者との連携をさらに強化していく考えを示しました。

続いて早川のテーマは、「成約率向上に向けたホーム情報の重要性」です。ケアプライムコミュニティサイトで提供している職員満足度の可視化機能について紹介し、現在、運営事業者が職場環境の改善や人材定着に活用していることを説明しました。

また、本人や家族から選ばれるホームには、ホームの特徴や取り組みなどの情報がより詳細に共有されている傾向があることを紹介。本人がその人らしく暮らし続けられ、家族も安心してシニアホームを選択できる環境づくりに向けて、笑美面と運営事業者との情報連携をさらに強化していく重要性を語りました。

■ 当イベント後半のハイライト:アワード授賞式／出展ブース見学／個別相談会／懇親会

イベント後半では、介護関連企業による出展ブースが並ぶ会場へ移動し、交流会を開催しました。

「顧客満足度」や「見学からの成約率」などをテーマとした、恒例のアワード授賞式を実施しました。受賞した運営事業者の取り組みや成果を共有しました。



出展企業とシニアホーム運営事業者が情報を共有し、交流した

出展ブースでは、介護現場の課題解決につながる製品やサービスの紹介が行われ、参加者は積極的に情報収集や意見交換を行いました。

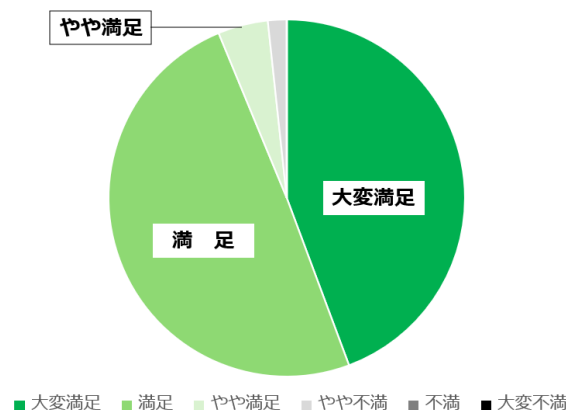


また、笑美面のコーディネーターによる「個別相談会」も実施しました。介護家族や本人の多様なニーズへの対応経験と、数多くのシニアホームに関して蓄積したデータを基に、各ホームの強みや課題、情報発信のあり方を個別に伝えました。事前予約の受付開始後、早い段階ですべての予約枠が埋まりました。

懇親会では、運営事業者、出展企業、笑美面メンバーが交流し、新たなつながりや連携が生まれる場となりました。

イベント後のアンケートでは、98%が「大変満足」または「満足」と回答しました。

イベント満足度



■参加者の声(※アンケート回答から一部抜粋)

- ◇ 同じ業界でのつながりを深めることができました。ありがとうございます
- ◇ 現場で活用できる実践的な事例紹介や施設の取組を共有いただける機会を今後も期待します
- ◇ ACP について、盲点だったリスクやチャンスに気づくことができた
- ◇ いつも参加させていただきありがとうございます。自らの知識や視野を広げられます
- ◇ 個別相談会では、自社の課題を確認することができました
- ◇ 各講演が非常に勉強になりました。また出展ブースの企業様も初めて知ったサービスなどもあり、とても楽しかったです
- ◇ 興味深いお話が多く、特にフィジカル AI については、介護の未来を感じる話だった

■プラットフォームの拡充やイベント開催により、運営事業者側の情報格差の縮小を目指す

シニアホームの多くは、中小規模の運営事業者です。そのため、日々の運営業務を優先せざるを得ず、サービスの質向上に必要な情報の収集や発信に十分な時間を割きにくい場合があります。

当社は、主力事業であるシニアホーム紹介サービスにより、多数のシニアホーム運営事業者とのネットワークを培っています。その強みを生かして立ち上げたのが、プラットフォーム「ケアプライムコミュニティサイト」です。

当プラットフォームの拡充やイベントの開催によって、運営事業者側の情報格差を縮小することを目指しています。これらの取り組みにより、介護家族に安心を提供するシニアホームを増やしていきます。

■事業成長の広がりによって生み出す社会(Theory of Change)



■株式会社笑美面(えみめん) 事業概要

日本初のインパクト IPO 企業として、超高齢社会が抱える「介護家族の負担」と「シニアホームに関する情報不足」という課題に向き合っています。事業を通じて、介護家族にとってシニアホーム介護の利用が「ポジティブ／当たり前」になっている状態をつくりだすことで、家族が「心の介護」に向き合い、高齢者が笑顔でいられる社会の実現を目指しています。

<シニアホーム紹介サービス>

シニアホーム入居を検討する本人や介護家族向けに、独自の取り組み、豊富な知識と経験を持つコーディネーターによる丁寧なカウンセリング「家族会議」を実施し、納得できるシニアホーム選びから入居までをトータル支援。

<ケアプライムコミュニティサイト運営>

シニアホーム運営事業者向けに、コミュニティサイトの運営を通じて、介護家族が安心して入居を選択できるためのシニアホームサービスの質向上を支援。

- ・社 名:株式会社笑美面(えみめん) /証券コード 9237(東証グロース)
- ・代 表 者:代表取締役 榎並将志
- ・本 社 所 在 地:大阪府大阪市西区京町堀 1-8-33
- ・創 業:2010年9月
- ・資 本 金:51,661,190円(2026年4月末現在)
- ・従業員数(連結):262人(2026年6月1日現在)
- ・公 式 サイト:<https://emimen.co.jp/>
- ・公 式 n o t:<https://emimen.co.jp/media/>